

27.9.24

協働の機会提案書(継続用)

平成27年9月24日

印西市長 板倉 正直様

(登録者) 登録番号 17-002

名称 NPO法人小林住みよいまちづくり会
 所在地 印西市小林北2-9コスモプラザ2階
 代表者 理事長 高橋 誠
 連絡先 0476-97-21

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

<p>課題 (前年度の実施を踏 まえた課題)</p>	<p>維持管理業務の活動上の問題点はないが、枯枝や木屑、ひこばえ、落葉の発生量が多く、すでに予算超過となっている。歴史広場の景観や安全歩行の観点から、歴史広場周辺の山林や山道、市道の管理が課題となる。</p>
<p>提案理由</p>	<p>10年間にわたる道作古墳群の草刈り、広場に近いと言う地の利を生かし木目細かい維持管理を継続したい。また広場全体に加え周辺道路などを管理し、子ども達や市民の学習や憩いの場に変えていきたい。</p>
<p>提案内容 (前年度の実施を踏 まえた改善内容)</p>	<p>前年度の業務(墳墓の草刈り、古墳広場の草刈り、樹木除伐、落葉かき、機材管理、文化財普及イベント、アンケート調査、HP・機関紙などによる広宣活動)を継続する。新たに周辺道路などを管理し、安心・安全な歴史広場に変えて行く。</p>
<p>貴団体の特性、協働 で実施するメリット</p>	<p>10年間道作古墳の草刈りをしてきた実績がある。また、古墳群に近く維持管理業務がし易い。さらに、簡単に移動出来るイベント設備(パラソル、発電機、綿菓子機など)を所有し、子供たちや市民が楽しめる場に出ることが出来る。<u>人的資源などの特性を有効活用できる。設立目的である小林地区のまちづくりに繋がる。</u></p>
<p>継続実施により 得られる効果や 目指す将来展望</p>	<p>歴史広場の景観や安全性が向上することにより、多くの市民が地域の歴史文化を身近に感じながら気軽に見学し憩える場所になる。</p>

(提案書 様式②)

協働事業計画書

事業名	道作古墳群歴史広場の維持管理事業		
事業の目的	古墳群と広場の草刈り、樹木管理、清掃、文化財普及イベントに加え周辺道路などを管理し、市民が安全に憩える場にする。		
事業期間	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日		
事業の内容 <small>詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して記すか、希望を記す)</small>	提案者	市	
	<ul style="list-style-type: none"> ○墳墓・古墳広場の草刈り実施 ○樹木の管理をする ○広場全体の清掃をする ○建物と機材の管理をする ○周辺道路などを管理する。 ○文化財普及イベントの共同開催 ○HP・機関紙などによる広宣活動 ○地域住民のニーズ調査 	<ul style="list-style-type: none"> ○管理についての相談・協議 ○文化財普及イベントの共同開催 ○古墳出土品の展示説明 ○広報いんざいなどによる広宣活動 ○道作古墳パンフレットの作成 	
事業に要する経費 <small>※詳細については、様式③による</small>	188,000円	1,098,000円	
対話方法 <small>市との協議や打ち合わせ方法</small>	毎月市へ事業の進捗状況及び実績を報告。また、メール等で随時情報交換をしている。		
協働のメリット <small>(各立場にとっての効果を簡潔に)</small>	提案者	市民	市
	<u>人的資源などの特性を有効活用できる。維持管理活動は小林地区のまちづくりに繋がる。</u>	景観も美しく市民が安心して憩える広場になる。	<u>歴史広場に関する市民の評価や意見を維持管理に反映出来る。また、経費も大幅に削減出来る。</u>
広報の方法	<u>歴史広場全体を市、維持管理活動を提案者に分担し、広報いんざいや市及び団体のホームページ、機関紙などで提供する。</u>		
評価の方法	年2回の文化財普及イベント開催時にアンケート調査を実施、当該事業の評価を行い市に報告している。		
備考	関係課・関係団体等 生涯学習課		
	その他		
添付書類	小林まちづくり瓦版第19号		

企画提案型協働事業経費内訳書

事業に係る見積り積算金額 金 1,098,000 円

無償分を含めた金額 (金1,845,000円)

【歳入】

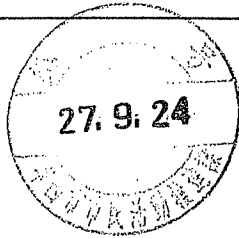
項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額	墳墓草刈り3回、古墳広場草刈り7回、樹木枝下ろし・除伐2回、 落葉かき・枯れ枝処理2回、車両費、焼却費、管理費	1,098,000
その他収入		
提案者負担分	春、秋2回の文化財普及イベント開催費	188,000
無償労働力等換算金額	瓦版作成費・印刷代、ホームページ記事作成費、周辺道路の 草刈り・刈り草収集・枝拾いなどの費用	(559,000)
合 計 (無償分を含めない)		1,286,000
無償分を含めた合計額		(1,845,000)

【歳出】

(1,000円未満の金額は切り捨て)

項 目	積算根拠 (内容・数量・工数・単価など)	見積り金額(円)
人件費	墳墓草刈り:面積1,770m ² ×44円/m ² ×3回/年	233,000
人件費	古墳広場草刈り:面積1,794m ² ×44円/m ² ×7回/年 広場刈り草集め:15人時/回×1,000円/人時×7回/年	657,000
人件費	樹木枝下ろし・除伐:30人時/回×1,000円/人時×2回/年	60,000
人件費	落葉かき・枯枝処理:20人時/回×1,000円/人時×2回/年	40,000
車両費	軽トラ:16回/年×3,000円/回	48,000
機材費	チェーンソー:4回/年×1,000円/回	4,000
焼却費	刈り草・枯れ枝・落葉:175kg/回×11回/年×26円/kg	50,000
管理費	建物・機材点検:12回/年×500円/回	6,000
イベント開催費	春の見学会:設営・運営費120,000円+機材費他59,500円 秋の見学会:設営・運営・機材費8,700円	188,000
提案者が負担する 無償労働力	瓦版・HP記事作成(18回):276人時/年×1,000円/人時 アンケート調査(2回):76人時/年×1,000円/人時 道路などの草刈り:面積410m ² ×44円/m ² ×7回/年 道路などの草集め:7人時/回×1,000円/人時×7回/年 道路などの枝拾い:8人時/回×1,000円/人時×4回/年	(559,000)
提案者が負担する 無償機材等		
提案者が負担するその 他の材		
合 計 (無償分を含めない)		1,286,000
無償分を含めた合計額		(1,845,000)

(提案書 様式①)



協働の機会提案書(継続用)

平成27年9月24日

印西市長 板倉 正直 様

(登録者) 登録番号 20-001
 名称 NPO法人 エコネットちば
 所在地 印西市竹袋72
 代表者 齋藤 敏男
 連絡先 0476-42-4741

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

<p>課 題 (前年度の実施を踏 まえた課題)</p>	<p>水辺と花の咲くひょうたん島池広場は、年々訪れる人々が増えて、景観を楽しみ、地域コミュニケーションの場となっている。皆さんの癒しの場となった竹袋調整池と周辺地域、その環境保全の維持管理を継続。</p>
<p>提案理由</p>	<p>市の水生公園構想により整備された、竹袋調整池と周辺地域は恵まれた景観の水辺の場であり、癒しと安らぎを求めて訪れる人が年々増加している。四季を通して花を楽しみ、水辺に飛来する野鳥の観察でこころ和む環境を維持して、市民のふれあい拠点にする。</p>
<p>提案内容 (前年度の実施を踏 まえた改善内容)</p>	<p>四季の花による花畑の整備、対象地域の定期的な草刈、日々のごみ清掃等の実施による、快適な環境保全と景観維持。 1. 花畑の整備、 2. 周辺地域の定期的草刈、 3. 日常随時のごみ清掃、</p>
<p>貴団体の特性、協働 で実施するメリット</p>	<p>エコネットちばは地元で活動するNPOで、地域住民、地元町内会・商店会、学校関係や他市民活動団体とも連携して、ひょうたん島池広場の花畑作りやイベントを実施してきた。多くの地域住民に参加・協力得るとともに、行政とも協働することで住民の関心が高まる。</p>
<p>継続実施により 得られる効果や 目指す将来展望</p>	<p>企画提案型協働事業に提案して七年目を実施中である。年を追うごとに花畑の整備も充実してきた結果、訪れる人々からのお褒めや感謝の言葉をいただいている。また、高齢者介護施設の散歩コースにも利用されてリハビリと癒しに役立っている。ひょうたん島池広場でのイベントも地域住民が参加協力により盛り上がり定着してきた。今後もよりよい地域コミュニケーションの場になるように更に充実した維持管理を継続する。</p>

協働事業計画書			
事業名	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業		
事業の目的	竹袋調整池と周辺地域を年間通して維持管理し、いつもきれいで気持ちよく利用できる水辺の憩いの場を市民に提供する		
事業期間	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して記すか、希望を記す)	提案者	市	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的な草刈 ○ 花畑の整備 ○ 樹木の管理 ○ 日常随時のごみ清掃 ○ 排水口のごみ除去 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持管理の相談・協議 ○ 植栽管理の指導・助言 ○ 花の種の提供 	
事業に要する経費 <small>※詳細については、様式③による</small>	50,000 円	3,060,000 円	
対話方法 <small>市との協議や打ち合わせ方法</small>	計画段階での協議・調整と実施中における相談・報告・協議		
協働事業の効果 (各立場にとっての効果を簡潔に)	提案者	市民	市
	水辺の憩いの場が地域コミュニケーションの拠点になり、ひとが人を呼び、周辺地域も巻き込みまちづくりの展開が期待できる。	年間通してきれいな水辺を憩いの場として利用でき、癒されると共に、ふれあいの機会が広がる。	市民に愛される魅力ある地域拠点ができ、市民サービスが向上する。更に、維持管理経費が削減できる。
広報の方法	広報いんざい、市のHPの活用やケーブルテレビ、地域ミニコミ誌等への情報提供、ホームページや現地案内看板による案内・周知。		
評価の方法	日常の来訪者やイベント来場者への感想、要望等を聴き、次年度への参考にするとともに、市へも報告して協働に役立てる。		
備考	関係課・関係団体等 : 都市整備課		
	その他		
添付書類	・竹袋調整地関係図面 ・年間スケジュール(H27年度版)		

企画提案型協働事業経費内訳書

事業に係る見積り積算金額 金 3,060,000 円無償分を含めた金額 (金 4,738,000 円)

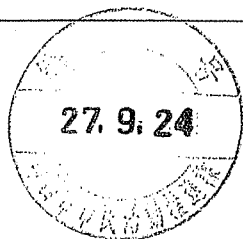
【歳入】

項 目	積算根拠(内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額		3,060,000
その他収入		
提案者負担分		50,000
無償労働力等換算金額	労働力 1,520,000円、機材 108,000円	(1,628,000)
合 計(無償分を含めない)		3,110,000
無償分を含めた合計額		(4,738,000)

【歳出】

項 目	積算根拠(内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
工事費	草刈(機械) 面積10,000㎡ 7回×150,000円/回	1,050,000
	草刈(手刈) 面積 300㎡ 2回×20,000円/回	40,000
	草刈(ひょうたん島)面積 300㎡ 3回×30,000円/回	90,000
	耕運(花畑) 面積3,300㎡ 6回×50,000円/回	300,000
	施肥(花畑) 面積3,300㎡ 6回×60,000円/回	360,000
	消毒(花畑) 面積3,300㎡ 3回×40,000円/回	120,000
	消毒(樹木) 桜50本 1回×50,000円/回	50,000
	植栽管理(桜、サツキ) 一式 150,000円/年	150,000
	水生植物除去 面積 300㎡ 1回×350,000円/回	350,000
	材料費	苗(花畑) 面積 3,300㎡ 2回×150,000円/回
種(花畑) 面積 1,000㎡ 2回×25,000円/回		50,000
保険料	損害保険 200,000円	200,000
提案者が負担する 無償労働力	800円×1,900時間=1,520,000円 (草刈 8日、花种植栽8日、除草 20日、散水20日、 流入・放流口ゴミ除去20日、地域清掃 48日)	(1,520,000)
提案者が負担する 無償機材等	草刈機(肩掛) 2,000円/回×6台×7日=84,000円 管理機(除草) 3,000円/回×2台×4日=24,000円	(108,000)
提案者が負担する その他の材料費	案内看板材料一式 50,000円	50,000
合 計(無償分を含めない)		3,110,000
無償分を含めた合計額		(4,738,000)

(提案書 様式①)



協働の機会提案書(継続用)

2015年 9月 24日

印西市長 板倉 正直 様

(登録者) 登録番号 23 — 004

名称 木下まち育て塾
 所在地 印西市木下
 代表者 伊藤 哲之
 連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

<p>課 題 (前年度の実施を踏 まえた課題)</p>	<p>印西市には木下河岸を始めとした利根川水運により隆盛をみた歴史と町家などの文化的資源が残されており、関係機関や市民ボランティアの努力により保存されており、市内外での関心は高まりを感じられているが、その価値の活用や理解を深める活動はまだ十分とは言えない状況が続いている。</p> <p>また、印西市は利便性や自然環境により全国的にも住みやすい街として評価されており、住民も増加傾向が続いている。さらに印西市を魅力ある街として、長く住む市民はもちろん新しい市民や若い世代に、愛着を持ってもらうため、印西市全体の歴史やそれぞれが住む地域の歴史への理解を深めてもらう機会を増やす必要がある。</p>
<p>提案理由</p>	<p>木下河岸の間屋であった吉岡家に残された蔵を活用した「吉岡まちかど博物館」(吉岡家土蔵)は郷土史学習の拠点として市との協働事業で認知度も高まり、地元小学校との交流も始まり、市民の間にも理解が深まりつつある。さらに生涯学習の機会提供と市民活動の活性化を高めるために、新住民も多い印西市民を主な対象として、歴史的価値の認識を深めてもらいさらに住んでいる街へのふるさと意識を醸成する目的も併せ、市との協働事業として提案するものです。</p>
<p>提案内容 (前年度の実施を踏 まえた改善内容)</p>	<p>吉岡まちかど博物館あるいは地域の公共施設等を会場とし、木下河岸を始めとした利根川水運の歴史を学習する「続・寺子屋吉岡」の講座開催、さらに夏期・冬期特別公開講座として市内外にある水運に関わる施設の見学会や、公民館を会場に講演会を企画・実施し、<u>小学生から高齢者まで、さらに転入した新住民も含め広く市民に参加を呼びかける。</u></p>

<p>貴団体の特性、協働 で実施するメリット</p>	<p>「木下まち育て塾」は平成15年に発足して以来、市民参加型のボランティア団体として、行政・大学・他の団体と連携し、木下・六軒地区に残る価値ある文化的建物・資料の調査・研究・保存に実績の多い団体である。昨今の江戸期の舟運に対する関心の高まりは、関東一円に広まりつつあり、市との協働により、ここで木下河岸及び利根川水運の歴史的意味を市民とともに再認識することで、住みよいまち印西市のふるさと意識の醸成とまちの活性化に貢献する。</p>
<p>継続実施により 得られる効果や 目指す将来展望</p>	<p>「続・寺子屋吉岡」で利根川水運と木下河岸の歴史的価値を学ぶことにより、郷土への関心を高め、印西市の水辺の街としての魅力をより深く理解ができ、住んでみたいまちとしての印西市の魅力向上に寄与します。新しい市民と長く住む市民との交流や世代を超えた交流の場も増え、住んでいる街への誇りと愛着がより深まります。さらに中心市街地のにぎわいを少しでも取り戻すため、町おこしの一助にも繋げていけるよう企画提案して行きたいと考えます。</p>

協働事業計画書			
事業名	印西市木下地区歴史講座		
事業の目的	木下地区や周辺地域に残る町家や文化財の価値を学ぶことにより、地域の人たちとともにその理解を深め、愛着をもって印西市に住む市民へのふるさと意識をより高める。		
事業期間	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して記すか、希望を記す)	提案者	市	
	○講座開催 (4 か月×2 回、各回 10 名計 20 名) ○特別講座開催 (夏期講座：市内外の郷土の歴史に関心ある方を対象講演 60 名、冬期講座：木下茶船の川の道を辿る (市バス利用) 40 名 合計 100 名) ○講座修了者は、講座で学んだ中からテーマを選び小論文や写真等で資料としてまとめる。 ○希望者は展示物の作成に参加	○講座開催の支援 ○講座講師の派遣 ○参加者募集の広報支援 ○特別講座開催 (夏期講座、冬期講座) の支援 ○調査・研究の指導 ○展示会の資料提供	
事業に要する経費 ※詳細については、様式③による	¥66,000	¥361,360	
対話方法 市との協議や打ち合わせ方法	月度活動報告、随時情報交換		
協働事業の効果 (各立場にとつての効果を簡潔に)	提案者	市民	市
	事業活動を推進しつつ活動の参加を促進し、市民活動として組織の強化が図れる	印西の歴史の学習を機会に住みよい街としてのふるさと意識の向上が期待される	木下に関心を持った市民だけでなく、市外から訪れる人々への受け皿ともなり市のイメージの向上になる
広報の方法	市広報紙、地域紙、塾の広報紙・チラシ・ポスター・ホームページ		
評価の方法	参加者へのアンケートによる		
備考	生涯学習課、観光協会、商工会		
	その他 水の郷ネットワーク、木下夢探訪、印西ふるさと案内人協会		
添付書類	パンフレット「寺子屋吉岡」		

企画提案型協働事業経費内訳書

事業に係る見積り積算金額 金 361,360 円無償分を含めた金額 (金 1,285,360 円)

【歳入】

項目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額	人件費、報償費、印刷製本費、通信運搬費	361,360
提案者負担分	工事費、会場費	66,000
参加者負担分	資料代 (500円×120=60,000円)	60,000
無償労働力等換算金額	労働力 798,000円	(798,000)
合計 (無償分を含めない)		487,360
無償分を含めた合計額		(1,285,360)

【歳出】

項目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
人件費*	講座運営 4時間×800円×8日×2人=51,200円 夏期特別講座 4時間×800円×6人=19,200円 冬期特別講座 6時間×800円×6人=28,800円	99,200
報償費*	講師謝礼 (二人分) 10,000円×4回=40,000円 特別講座 (二人分) 10,000円×2回=20,000円	60,000
工事費	展示物作成費用 (吉岡蔵) 50,000円	50,000
印刷製本費*	告知ツール印刷費*A4ペラ・パンフレット 1,000部 (30か所×30部+予備100部) ×4回×30円=120,000+9,600円*A3ポスター100部(市内公共施設 30か所+他 40か所+予備 30部) ×4回×130円=52,000+4,160円	185,760
資料作成費	資料 120部×500=60,000円 (実費参加者負担)	60,000
通信・運搬費*	告知用郵送料@82×100×2=16,400円	16,400
会場費 (電気代)	会場費 ¥2,000×8月 =16,000円	16,000
提案者が負担する無償労働力	798円×4時間×5人×50日=798,000円	(798,000)
合計 (無償分を含めない)		487,360
無償分を含めた合計額		(1,285,360)

*印は市に負担を求める項目